

別紙 A

武道ツーリズムに係る  
施設情報データベース構築事業  
報告書  
＜調査事業編＞

令和3年3月

スポーツ庁

委託先： 株式会社JTBCコミュニケーションデザイン

## 武道ツーリズムに係る施設情報データベース構築事業 「調査事業」報告書 別添資料

### <目次>

|   |                       |     |
|---|-----------------------|-----|
| 1 | 事業の趣旨・目的等             | P2  |
| 2 | 調査概要                  | P3  |
| 3 | 調査設計・実務               | P4  |
| 4 | 回答結果                  | P10 |
| 5 | 訪日旅行事業者での意見交換会        | P13 |
| 6 | 事業の目標設定に対する振り返り       | P14 |
| 7 | 調査事業での成果と課題           | P15 |
| 8 | 今後のデータベース拡充及び活用方針について | P16 |
| 9 | 付録                    | P17 |

# 1. 事業の趣旨・目的等

## 1. 本調査の背景・趣旨

スポーツの参加や観戦を目的として地域を訪れたり、地域資源とスポーツが融合した観光を楽しむスポーツツーリズムは、幅広い関連産業の活性化、交流人口拡大による地域活性化に大きく寄与するポテンシャルがある。

こうした中、スポーツ庁では、平成30年3月に策定された「スポーツツーリズム需要拡大戦略」や令和2年3月に策定された「武道ツーリズム推進方針」等に基づき、各種施策を展開しているところであるが、特に武道ツーリズムを推進するに当たって、事業者等から「武道ツーリズムで使用可能な施設がない」「そもそも武道館・武道場等の情報が顕在化していない」といった課題が指摘されている。

このため、本事業では、全国の公共・民間のスポーツ施設（武道に関するものに限る。以下同じ。）について、施設名称、住所、設備、ツーリスト受入実績、インバウンド受入環境等の武道ツーリズムに有用な情報を調査し、データベースとして整備するとともに、データの利用例及び利用マニュアルを策定する。

※ R 2 公募資料より抜粋

## 2. 目的

スポーツ施設の施設名称、住所、設備、ツーリスト受入れ実績、インバウンド受入環境等の武道ツーリズムに有用な情報を調査し、データベースとして整備し、利用例及び利用マニュアルを策定する。

## 3. 調査事業での実施事項の方向性

- データベースの整備（CSVデータでの納品）
- 武道館・武道場等の情報の顕在化に向けた、施設からの回答獲得とデータベースを構築しCSVでデータ納品する

## 2. 調査概要

### 1. 本調査の実施概要

|              |                                                                                                                                                             |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査対象         | 日本全国の武道関連施設                                                                                                                                                 |
| 調査期間         | 2020年12月17日～2021年1月31日                                                                                                                                      |
| 調査手法         | オンラインアンケート調査                                                                                                                                                |
| 調査手法（詳細）     | 対象の施設に書面を送付し、架電による協力依頼を実施                                                                                                                                   |
| 送付書面         | ①協力依頼書<br>②武道ツーリズムの取組み紹介書面<br>③アンケート回答の手引き                                                                                                                  |
| 架電期間         | ■1次期間：2020年12月17日（木）～24日（木）<br>■2次期間：2021年1月12日（火）～17日（日）<br>■3次期間：2021年1月25日（月）～27日（水）<br>※受電専用デスクは2020年12月17日～2021年1月31日で開設<br>※架電関係業務実施機関：ウィズ・プランナーズ株式会社 |
| 回答率、および獲得回答数 | 61.4% （3,922件から2,407件の回答を獲得）                                                                                                                                |
| 実施機関         | 株式会社矢野経済研究所                                                                                                                                                 |

### 2. 実施体制

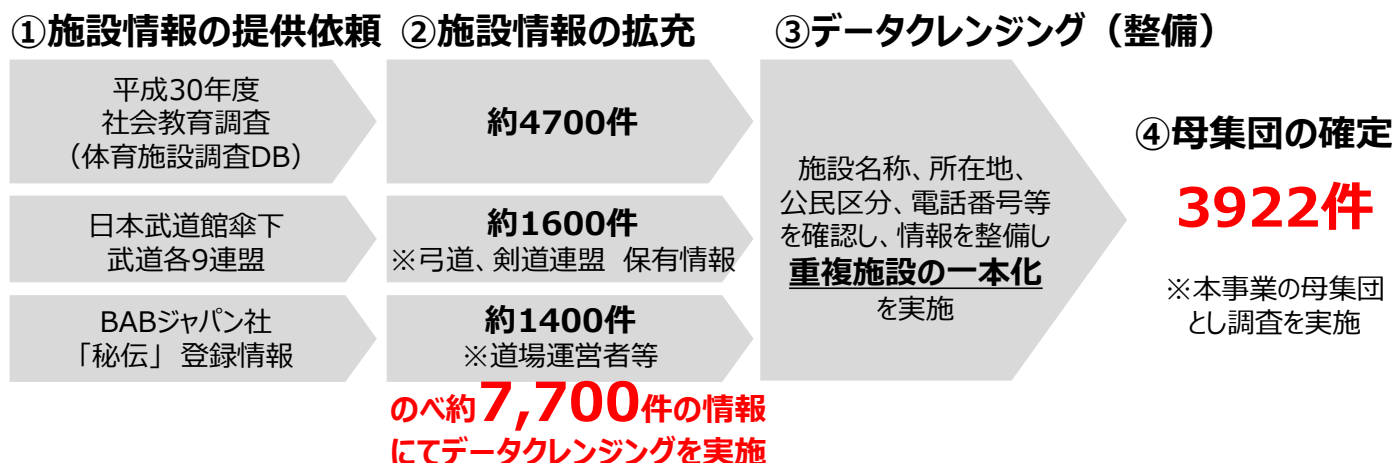


# 3. 調査設計・実務

## 1. 母集団整備について（施設情報の収集）

令和2年度の調査事業の実施効果を最大化するために、（公財）日本武道館経由で武道系の9つの連盟や国内の武道系用品店、専門誌を取り扱う出版社等に、保有施設情報の提供を働きかけ、のべ約7,700件の情報から、データ整備（クレンジング）、重複確認を行い、母集団を確定した。

### ■施設情報（調査母数）整備の行程



※上記に加え、全日本武道具協同組合傘下の武具用品店計12社へも、施設情報の提供を相談しました。

## 2. 母集団整備について（施設情報のデータクレンジング）

本事業では上記記載の通り、複数のリストからアンケート調査対象施設リストを作成した。その際、下記の要領にてデータクレンジングを実施した。

### ■複数のリストの情報を同一のExcelフォーマットに組み込み、下記作業を実施

- ・「欠損値、異常値の置き換え」、「数字を半角に統一」「空白の除去」等
- ・上記作業を終えたうえで、下記規則に基づき重複データを削除
  - ※同一住所に武道実施可能な施設が複数ある場合は1施設として扱う
  - ※住所が近い施設や似た名称の施設が残った場合には、WEB検索により施設情報を確認し、同一施設であるか異なる施設であるかを判断した。
  - それでも判断がつかない場合は、異なる施設と判断し、リストに残すこととした。

## 3. 質問項目の策定について

今回のデータベースが旅行会社や体験型コンテンツ事業者に使われやすいデータとなるよう、訪日旅行事業者JTBグローバルマーケティング＆トラベル（GMT）のアドバイスを受け、旅行事業者目線での質問項目を拡充した。

### 【アドバイザー】

谷村 浩志

（株）JTBグローバルマーケティング＆トラベル 欧州営業部



入社後、国内海外一般団体営業を担当、その後国内海外教育旅行、海外旅行商品（ルックJTB、ヨーロッパ方面）造成を経て2007年よりGMT勤務。GMTではサンライズツアー造成、その後2011年11月～2015年6月まで（株）JTBヨーロッパに出向、ルックJTBの手配ならびに欧州企画商品部勤務でロンドン駐在、ルックJTBの見積手配を統括）。2015年7月より北米豪B2Bセールス、その後欧州B2Bセールスを担当し現在に至る。

### 3. 調査設計・実務

#### 4. 質問項目（確定版）

本事業で実施した施設に対するアンケート項目は下記の通り。

##### 【1. 施設の基本情報】

| 項目                          | 設問内容                                                                                                                                            |
|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1-1. 基本情報                   | 所在地、所有者、管理者、問い合わせ先、施設最寄り駅、休館日、施設HP、施設SNS                                                                                                        |
| 1-2. 実施可能な武道                | ・施設で実施可能な武道<br>柔道、剣道、空手、合気道、すもう、弓道、なぎなた、銃剣道、少林寺拳法、その他武道の実施可否                                                                                    |
| 1-3. 専用施設の有無                | ・各武道専用施設の有無<br>柔道場、剣道場、柔剣道場、空手道場、合気道場、すもう場、弓道場、なぎなた場、銃剣道場、少林寺拳法場、その他武道専用施設                                                                      |
| 1-4. 施設の設備                  | ・下記設備の設置有無<br>空調（冷房）、空調（暖房）、フリーWi-Fi、洋式トイレ、和式トイレ、更衣室、シャワー、駐車場、バス用駐車場、観客席、飲食スペース（レストラン）、飲食スペース（持込物の飲食可否）、飲料自動販売機                                 |
| 1-5. 施設に常備する備品              | ・下記備品の設置有無<br>敷きマット、たたみ、マイク、プロジェクター、モニター、施設紹介動画（日本語版、英語版）                                                                                       |
| 1-6. 身体障害者の利用可否、身体障害者用設備の有無 | ・身体障害者の利用可否、車いす使用者の利用可否、身体障害者用トイレおよび身体障害者用駐車場の設置有無                                                                                              |
| 1-7. 感染症（新型コロナウイルス等）対策      | ・感染症対策で準拠しているガイドラインの有無、<br>「有」の場合はガイドラインの作成団体<br>・検温要請（来館前、入館時）<br>・ソーシャルディスタンスの取組、<br>・マスク着用要請（武道実施中、それ以外）<br>・備品の設置有無（検温計、消毒液、貸出用マスク、フェイスガード） |
| 1-8. 回答内容の公開可否              | ・1-1～1-7までの回答内容について公開可否<br>・上記設問で不可の場合、1-1についての公開可否                                                                                             |

### 3. 調査設計・実務

#### 4. 質問項目（確定版）

本事業で実施した施設に対するアンケート項目は下記の通り。

##### 【2. 一般（特定の道場教室以外）への開放状況】

| 項目                             | 設問内容                                                        |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 2-1. 一般（特定の道場教室以外）への開放有無       |                                                             |
| 2-1-1. 兼用施設<br>（総合武道場や体育館など）   | ・開放有無<br>・「開放有」の場合の利用者数、対象者（性別と年齢）、開放曜日と時間帯                 |
| 2-1-2. 専用施設施設<br>（総合武道場や体育館など） |                                                             |
| 2-2. 一般利用の申込方法                 | ・各申込方法の可否（TEL、FAX、施設HP）                                     |
| 2-3. 一般（特定の道場教室以外）の利用料金        |                                                             |
| 2-3-1. 兼用施設<br>（総合武道場や体育館など）   | ・一般開放する場合の利用料金<br>（「日/時間/分」あたりの料金）                          |
| 2-3-2. 専用施設施設<br>（総合武道場や体育館など） |                                                             |
| 2-4. 支払方法                      | ・対応する支払方法<br>（銀行振込、現地での現金収受、クレジットカード、<br>その他方法）             |
| 2-5. 貸出用具の有無                   | ・一般利用者向けの貸出用具の有無<br>「有り」の場合は、その数量（～人分）、貸出料金                 |
| 2-6. 施設利用者の保険加入方法              | ・施設側での申込or利用者側での申込                                          |
| 2-7. キャンセル料設定                  | ・キャンセル料設定の有無<br>・「設定有り」の場合の発生条件（利用日の～日前より）と、料金<br>設定（料金の～%） |
| 2-8. 回答内容の公開可否                 | ・2-1～2-7までの回答内容について公開可否                                     |

## 3. 調査設計・実務

### 4. 質問項目（確定版）

#### 【3. 外国人の対応状況】

| 項目                              |                               | 設問内容                                                                                                         |
|---------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3-1.                            | 旅行会社などが企画する外国人ツーリズムの受入可否      | 下記の受入可否、「受入可」の場合の受入可能人数<br>・「する」体験（作法体験、稽古や試合等に参加）<br>・「見る」体験（施設、作法・稽古、試合等の見学）<br>・合宿やセミナー（武道合宿、師範によるセミナー等）  |
| 3-2.                            | 施設主催による「外国人の参加を想定した企画」の有無     | 下記の実施有無、「実施有り」の場合の対応可能人数<br>・「する」体験（作法体験、稽古や試合等に参加）<br>・「見る」体験（施設、作法・稽古、試合等の見学）<br>・合宿やセミナー（武道合宿、師範によるセミナー等） |
| 3-3. 3-1もしくは3-2で「受入可」とした場合の料金設定 |                               |                                                                                                              |
|                                 | 3-3-1. 旅行会社等が企画する外国人ツーリズム     | ・有料or無料、有料の場合の料金<br>・キャンセル料設定の有無、設定ありの場合の発生条件（利用日の～日前より）、料金設定（料金の～%）                                         |
|                                 | 3-3-2. 施設主催による「外国人の参加を想定した企画」 |                                                                                                              |
| 3-4.                            | 3-1もしくは3-2で「受入可」とした場合の支払方法    | ・対応する支払方法<br>（銀行振込、現地での現金収受、クレジットカード、その他方法）                                                                  |
| 3-5.                            | 対応可能な言語                       | ・下記言語への対応可否<br>英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語、韓国語、その他言語                                                  |
| 3-6.                            | 外国人対応が可能な日                    | 対応可能な曜日と時間帯                                                                                                  |
| 3-7.                            | 外国人の受入実績                      | ・2019年（1～12月）における外国人の受入回数                                                                                    |
|                                 | 3-7-1. 旅行会社などが企画する外国人ツーリズム    |                                                                                                              |
|                                 | 3-7-2. 施設が主催する外国人の参加を想定した企画   |                                                                                                              |
| 3-8.                            | 施設ホームページの対応言語                 | ・下記言語への対応可否<br>英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語、その他言語                                         |
| 3-9.                            | その他の外国人向けサービス                 | 下記外国語パンフレットの設置や配布の有無<br>・当該施設の案内<br>・周辺観光案内<br>・周辺武道用品店の案内<br>・外国人が参加可能な大会やイベントの案内                           |
| 3-10.                           | 回答内容の公開可否                     | 3-1～3-9までの回答内容について公開可否                                                                                       |

#### 【4. 自由回答】

| 項目            | 設問内容                                                          |
|---------------|---------------------------------------------------------------|
| 武道ツーリズムに関する意見 | ・武道ツーリズム発展のためのアイデアや課題<br>・外国人を受け入れて良かったこと<br>・受け入れる側の難しさ<br>等 |



# 3. 調査設計・実務

## 5. アンケート協力依頼～回答までの流れ

Webアンケート実施に際し、問合せ事務局を設置し、施設への回答獲得向上施策を実施した。  
また協力依頼書にスポーツ庁「武道ツーリズム」の取組み紹介資料を同封し、「武道ツーリズム」の認知拡大のためのご案内も実施した。

※送付物や付録についてはP18以降ご参照

### スポーツ庁名義の書面でアンケートの回答依頼を施設に送付

#### 1. 協力依頼書の送付

##### ①協力依頼書

協力依頼書のイメージ。スポーツ庁事務局（問合せ事務局）からの依頼書。協力依頼の趣旨、調査の目的、調査の概要、調査の日程、調査の協力依頼のお願い、お問い合わせ先などの情報が記載されている。

##### ②回答の手引き ③武道ツーリズム取組み紹介

回答の手引きのイメージ。アンケートの回答方法、回答の期限、回答の送り先などの情報が記載されている。

武道ツーリズム取組み紹介のイメージ。武道ツーリズムの取組みの概要、取組みの目的、取組みの成果などの情報が記載されている。

#### 2. 架電による協力依頼

### 架電により、書面の到着確認と回答協力を呼びかけ

調査期間中、対象施設に対し、架電による書面の到着案内と回答協力を  
実施し、回答数の向上に努めた。また、フリーダイヤルを取得し、通期での  
施設からの問合せに対応し、回答手法の案内等を実施した。

|      |                                                          |
|------|----------------------------------------------------------|
| 名称   | スポーツ庁「武道施設調査」事務局                                         |
| 開設期間 | 2020年12月17日～2021年1月31日<br>9:00-18:00 ※年末年始（12/29-1/3）を除く |

#### 3. オンラインでのアンケート回答入力

### オンラインアンケートにアクセスし、回答者自ら入力を実施

##### ①TOPページ

TOPページのイメージ。アンケートの概要、調査の目的、調査の概要、調査の日程、調査の協力依頼のお願い、お問い合わせ先などの情報が記載されている。

##### ②PW入力

PW入力のイメージ。パスワードの入力画面。パスワードの入力欄、パスワードの確認欄、パスワードの入力ボタンなどが表示されている。

##### ③回答入力画面

回答入力画面のイメージ。アンケートの回答入力画面。回答の項目、回答の入力欄、回答の入力ボタンなどが表示されている。

※インターネット環境のない施設に対しては、問合せ事務局経由で紙での回答もご案内した。

### 3. 調査設計・実務

## 6. アンケート協力依頼架電について

対象施設へのご案内を口頭で実施し、お問い合わせ等に応えることで回答率の向上や、丁寧な対応を実施するために、事務局を設置し架電と受電対応を実施した。

### (1) 架電結果

|                    |        | ①12/17 (木) ~12/24 (木) | ②1/12 (火) ~1/17 (日) | ③1/25 (月) ~1/27 (水) |
|--------------------|--------|-----------------------|---------------------|---------------------|
|                    |        | 到着確認                  | 督促① + 到着確認          | 督促② + 督促①           |
| 【架電数】              | 11,525 | 4,767                 | 4,039               | 2,719               |
| 回答済                | 164    | 26                    | 84                  | 54                  |
| 回答予定               | 4,521  | 2,301                 | 1,453               | 767                 |
| 回答拒否               | 313    | 167                   | 87                  | 59                  |
| 未着再送希望(郵送)         | 32     | 12                    | 19                  | 1                   |
| 未着再送希望(FAX)        | 0      | 0                     | 0                   | 0                   |
| 未着再送希望(MAIL)       | 1      | 0                     | 1                   | 0                   |
| 都合によりお繋ぎできません      | 29     | 13                    | 10                  | 6                   |
| 現在使われておりません        | 116    | 70                    | 44                  | 2                   |
| 直切れ (ツーツー音)        | 270    | 161                   | 71                  | 38                  |
| 再コール希望 (忙しい、担当者不在) | 29     | 20                    | 9                   | 0                   |
| コールのみ (留守電、FAX音含む) | 6,050  | 1,997                 | 2,261               | 1,792               |
| その他 (エスカレーション)     | 0      | 0                     | 0                   | 0                   |
| 【接続数】              | 5,028  | 2,514                 | 1,634               | 880                 |
| 【接続率】              | 43.90% | 52.99%                | 40.93%              | 32.40%              |

### (2) 事務局に寄せられた施設の声 (抜粋)

|     |                                                       |
|-----|-------------------------------------------------------|
| 事例① | 地域振興につながることであれば積極的にアンケート含め、是非協力をしたい                   |
| 事例② | オリンピック開催にあたり、海外からの旅行者に“武道”を広められることを期待している             |
| 事例③ | 武道ツーリズムの前に、コロナ禍で苦しみ中小事業者をスポーツ庁が助けて欲しい、新しい生徒が入らず継続できない |

※入電対応業務では、施設の認証を行っていないため、どの施設からの回答かは不明

### (3) 所感 (実施機関：ウィズ・プランナーズ運用責任者のコメント)

“武道”というジャンルの特質からか、施設担当者様、電話口の方々のアンケート調査へのご理解、ご協力の姿勢がとても強く感じられた。回答率を日次で把握しながらの架電実施だったため、対応オペレーターモチベーションの向上にも繋がり、全期を通じて、高いパフォーマンスを発揮することができたと感じる。アンケート到着直後を狙い計画的に実施した戦略的な架電や、土日の稼働運用も、回答数(率)の向上に直結できたのではないかと考える。

# 4.回答結果

## 1. 回答結果

アンケートの回答結果より、概要として見られた傾向を報告する。

### ①回答件数と回答率

Webアンケートを実施し、3,922件の母数のうち、2,407件の施設から回答を獲得（61.4%）。「武道館・武道場等の情報の顕在化」という課題に対して、有効な基礎データを獲得した。

【データソース別回収率】

| データソース     | 送付件数  | 回答件数      | 回答率   |
|------------|-------|-----------|-------|
| 社会教育調査（民間） | 676   | 301（※1）   | 44.5% |
| 社会教育調査（公共） | 2,490 | 1,762（※2） | 70.8% |
| 月刊秘伝       | 70    | 26        | 37.1% |
| 剣道連盟（民間）   | 294   | 119       | 40.5% |
| 剣道連盟（公共）   | 68    | 51（※3）    | 75.0% |
| 弓道連盟（官民混合） | 324   | 123       | 38.0% |
| 母集団外（合気会他） | —     | 25        | —     |
|            | 3,922 | 2,407     | 61.4% |

（※1）送付リストにない施設について、追加で回答された施設 1 件を含む。

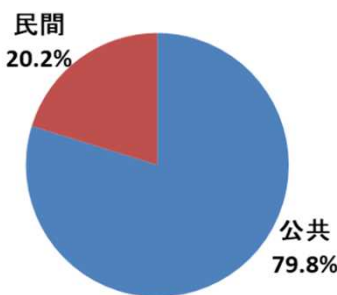
（※2）送付リストにない施設について、追加で回答された施設 4 件を含む。

（※3）送付リストにない施設について、追加で回答された施設 1 件を含む。

### ②施設の公民割合

施設は民間20%、公共80%

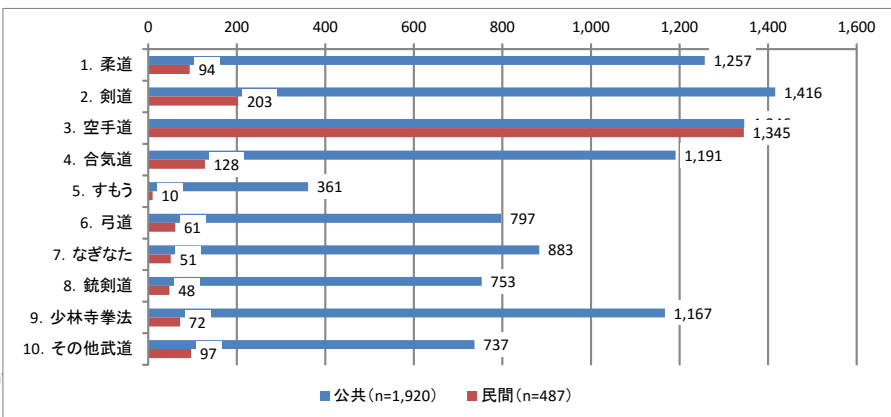
回答施設における公共・民間比率



(n=2,407)

### ③実施可能競技の傾向

公民それぞれでの実施可能競技を記載



# 4. 回答結果

## 2. 回答結果（詳細）

アンケートの回答結果より、概要として見られた傾向を報告する。

### ②外国人ツーリズムの受入れ可否（公民別）

|    | 回答数   | 旅行会社等主催の<br>ツーリズム受入可 | (比率)  |
|----|-------|----------------------|-------|
| 公共 | 1,920 | 1,125                | 58.6% |
| 民間 | 487   | 288                  | 59.1% |
| 合計 | 2,407 | 1,413                | 58.7% |

＜ポイント＞ ①の公民比率に対して、本質問での民間の受入れ「可」の回答は約59%に上る（受入意向高）

### ③外国人ツーリズムの受入れ可否（体験種別）

|           | 可             | 不可               | 応相談              |
|-----------|---------------|------------------|------------------|
| 1.「する」体験  | 157<br>(6.5%) | 1,035<br>(43.0%) | 1,132<br>(47.0%) |
| 2.「見る」体験  | 202<br>(8.4%) | 958<br>(39.8%)   | 1,184<br>(48.4%) |
| 3.合宿やセミナー | 121<br>(5.0%) | 1,105<br>(45.9%) | 1,082<br>(45.0%) |

＜ポイント＞ 「応相談」の回答が全体の約半数

### ④外国人受入れ可施設における外国語対応

|               | 英語           | ドイツ語       | フランス語      | スペイン語      | イタリア語     | ロシア語       | 中国語        | 韓国語        |
|---------------|--------------|------------|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|
| 公共<br>(n=779) | 75<br>9.6%   | 4<br>0.5%  | 6<br>0.8%  | 8<br>1.0%  | 5<br>0.6% | 6<br>0.8%  | 13<br>1.7% | 8<br>1.0%  |
| 民間<br>(n=204) | 86<br>42.2%  | 7<br>3.4%  | 6<br>2.9%  | 2<br>1.0%  | 4<br>2.0% | 4<br>2.0%  | 11<br>5.4% | 4<br>2.0%  |
| 合計<br>(n=983) | 161<br>16.4% | 11<br>1.1% | 12<br>1.2% | 10<br>1.0% | 9<br>0.9% | 10<br>1.0% | 24<br>2.4% | 12<br>1.2% |

＜ポイント＞ 「英語（16.4%）」、「中国語（2.4%）」に次ぎ、他の言語は軒並み1%前後の水準

### ⑤外国人の受入れ実績（旅行会社企画・自主企画含む）

|    | 回答数   | 旅行会社等主催もしくは<br>自主企画で<br>外国人受入実績あり | (比率)  |
|----|-------|-----------------------------------|-------|
| 公共 | 1,133 | 32                                | 2.8%  |
| 民間 | 282   | 71                                | 25.2% |
| 合計 | 1,415 | 103                               | 7.3%  |

＜ポイント＞ 外国人の受入れ実績としては、公共2.8%と比較して、民間は25.2%と高い水準

### ⑥外国人受入れ可施設におけるクレジットカード対応

|           | クレジットカード対応施設 | (比率) |
|-----------|--------------|------|
| 公共(n=779) | 6            | 0.8% |
| 民間(n=204) | 10           | 4.9% |
| 合計(n=983) | 16           | 1.6% |

＜ポイント＞ クレジットカードの利用可能比率は、全体で1.6%（民間は4.9%）

## 4.回答結果

### 3. 回答結果（自由記述の抜粋）

#### ■ 武道ツーリズムに関する意見 等

- ・「武道ツーリズム」という言葉を今回のアンケートで初めて知りました。
- ・海外の方々に、剣道の良さ（日本古来の武道が持つ良さ）に触れてもらうことへの協力は惜しみません。これまでも地域にホームステイされた海外の子供達からの要請で剣道体験して頂いたことは何度かあります。その際は、当剣友会のOB・OGから英語が話せる者に事前連絡し、できるだけ丁寧に対応は心がけてきました。一度に大人数指導した経験はありませんが、竹刀の用意はある程度なら可能だと思います。ただ、「武道ツーリズム」としてご協力するのであれば、当然それなりの準備も必要であり、事前に是非打ち合わせをさせて頂きたいと思います。
- ・外国人の体験依頼をホテルから依頼されて受けたことがあるが、ホテル側が武道に対する知識がなく体験イメージがないため対応に苦慮するので、そうした活動を推進・周知するための簡単なパンフレットを作成して、ホテルなどに設置してほしい。また、問い合わせはあるものの、結局当日来られないことが多いので、あまり積極的に対応できないのが現状です。
- ・合気道は言葉があまり必要じゃないので苦労したことはありません。片言の英語で通じる時もありますので、楽しんでもらう事が一番です。
- ・数は少ないですが、外国人等の初心者に教えたことがあります。言葉はあまり関係ないですが、通訳がいれば楽なことは楽です。
- ・外国人を受け入れたことがあるが、靴を脱ぐことから教えなければならないし、道場を神聖な場所として理解していない。
- ・武道ツーリズムの企画、共感いたします。私共は習得した日本伝統文化、空手道を後世に伝承しております。これからは本部道場の施設整備、発信環境を整え世界に認知されるよう取組を進めていきます。
- ・年間数名の外国人の方が参加されています。英字の弓道マニュアルを配ったりしていますが、作法や射法・射技などを細かく伝えることが難しく、指導者の先生も英語に堪能な方が少ないので苦労されています。弓道場職員、弓道連盟の方々がともに協力して受け入れ体制を作り、外国人の方々にも正しく日本の伝統の弓道を伝えられるようになればと思います。
- ・外国人受け入れについては、受け入れることによって、武道をもっと知ってもらうことに加え、当施設の所在する地域についても知ってもらうきっかけになると考えます。また、各施設を使用することで、使用頻度の増加にもつながるため今後、検討していきたいと考えます。



# 5. 訪日旅行事業者での意見交換会

## 1. ツーリズムとしての深掘りを行うための意見交換会を開催

本事業での取り組みを紹介し、次年度以降「ツーリズムの深掘り」を実施するために、訪日旅行事業者を招請し、武道ツーリズムの取り組み事例や課題、将来展望についての意見交換会を実施した。本会では、闊達な意見交換が行われ、設定時間間際まで各社からの課題や希望、意見があげられた。

### ■ 開催概要

|      |                                                                                                                                                                                        |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日時 | 2021年2月22日（月）14時00分 - 16時30分                                                                                                                                                           |
| 実施場所 | 株式会社JTBコミュニケーションデザイン<br>本社 12階会議室<br>（東京都港区芝1-23-1セレスティン芝三井ビルディング内）                                                                                                                    |
| 参加者  | インバウンド観光事業者 5社<br>スポーツ庁（主催）<br>株式会社JTBコミュニケーションデザイン（事務局）                                                                                                                               |
| 次第   | （1）武道ツーリズムの取組み紹介 スポーツ庁より<br>（2）武道場データベース構築事業紹介 JCDより<br>（3）データベースを活用したモデルコース紹介 GMTより<br>（4）招請5社の取組み紹介と意見交換会<br>①武道ツーリズムの課題や将来展望について<br>②自治体や武道兼会社との連携について<br>③次年度の調査項目や連携可能なデータベースについて |

### ■ 意見交換会でのコメント要旨（抜粋）

| 議題         | 要旨（抜粋）                                                                                                                                  |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 現状         | ・日本独自のコンテンツとして、海外旅行者からの体験意向がある                                                                                                          |
| 課題         | ・体験施設を探すことが困難<br>・通年型の商品化が困難（受入れ側都合での取消しになる例もある）<br>・万が一、けが等をした場合のリスク想定が必要                                                              |
| 将来展望       | ・富裕層向けの高付加価値型商品と一般旅行者向けの体験型商品双方の開発が望まれる。<br>・認知拡大のための海外向けプロモーションの強化の必要性。<br>・受入れ施設の「場（本物の道場）」や案内者が日本人等、「ホンモノ」に触れることができる要素が体験価値の向上につながる。 |
| 今後知りたいこと   | ・旅行会社としては、体験可能な商品の概要（時間・内容・料金）の一覧化と問合せ先の明確化が望まれる。                                                                                       |
| 連携可能データベース | ・宿泊や食事系のポータルサイト、営業担当向け企画書作成サイト等                                                                                                         |

### ■ 参加者一覧（順不同）

|             |                               |
|-------------|-------------------------------|
| インバウンド観光事業者 | 株式会社日本旅行 訪日旅行営業部              |
|             | 東日観光株式会社 国際旅行事業部              |
|             | アヤバックス株式会社 営業部                |
|             | 株式会社KNT-CTグローバルトラベル 第2営業支店    |
|             | 株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル欧州営業部 |
| スポーツ庁       | 係長(地域振興担当)                    |
| 事務局         | 株式会社JTBコミュニケーションデザイン          |



# 6. 事業の目標設定に対する振り返り

## 1. 事業の目標設定

### 定量目標

#### ■ 設定目標①：調査母集団の追加

スポーツ庁より提供される4,700の施設データをベースに、独自データや洗い出し作業等により調査対象となる母集団を拡大する。

##### 【講じる施策】

- ① 武道団体への情報提供協力依頼を行う。
- ② 武道関連事業者に対するヒアリング及び情報提供の協力依頼を行う。

##### 【懸念事項】

- ・追加洗い出しを行った施設リストの内容が、スポーツ庁より提供される社会教育調査データと被りがある可能性。

##### 【設定目標】

元となる4,700件の施設データに独自調査分を加え、5,000件以上の母集団を形成する。

##### 【結果】

- ・社会教育調査の母数は整備の結果4,700から3,166件となったが、追加分は300件の目標に対して756件

▶ 目標達成

#### ■ 設定目標②：回答回収率

事業者の利便性の高いDBとなる要素の一つとして、掲載施設数の多さがあるものと考えられるが、施設数には調査の回収率が直結するため。定量目標として設定。

##### 【講じる施策】

- ① 郵送 + WEB回答形式を採る。
- ② 母集団に対し、郵送時の着荷確認、2度の督促と、計3回の電話コミュニケーションを行う。
- ③ 調査票に、武道ツーリズムの意義を伝えるレターを同封し関心喚起を図る。

##### 【懸念事項】

- ・政府統計調査等と異なり、回答を強制できる調査ではない。
- ・十分と思われるスケジュールを設定しているものの、コロナ禍動向においては、調査対象者の回答が滞る状況が発生する可能性も想定。

##### 【設定目標】

再委託先にて官公庁案件の調査実績を豊富に有しており、本事業と同様にWebアンケート調査を要する調査も数多く実施している。その調査経験を踏まえ、本調査における回収率を30%として設定。

##### 【結果】

**61.4%** の回答率

▶ 目標達成

### 定性目標

#### ■ 設定目標③：武道ツーリズムへの関心喚起

武道場保有者においても、武道ツーリズムの認知や理解はまだ乏しいと想定されるため、本調査を通じて、理解促進・関心喚起を図る。

##### 【講じる施策】

- ① 武道ツーリズムへのニーズやその意義を訴求するレターを作成し、調査上郵送時に同封する。

##### 【設定目標】

左記レターを用いた、武道ツーリズムに対する武道施設保有者の理解促進・関心喚起。

##### 【結果】

- ・住所不在施設を除き、対象施設へのレター発送を実施
  - ▶ 「武道ツーリズムを初めて知った」等の自由回答も得られ、関心を関心喚起に貢献したと認識

# 7. 調査事業での成果と課題

令和2年度、調査・データベース構築事業を実施する中で得られた成果と今後の課題を整理する。

## 1. 武道ツーリズムに係る施設データベースの構築

### ■ 成果

- ① 武道館・武道場の施設データベースの顕在化に貢献した。
- ② 母集団のデータクレンジング、回答結果のCSVを整備した。
- ③ 基礎的な質問項目を、旅行事業者目線で設計し、今後の追加調査の枠組みを策定した。  
※別途、仕様書に記載された「社会教育調査」のデータクレンジングを行い市区町村別の所在数を再整理した。

### ■ 今後の課題

**既に武道ツーリズムの取組実態がありつつも、まだ回答を得られていない施設もあり、令和2年度の手法（依頼書の送付と架電による回答督促）に替わる方法で、未回答施設の回答を拡充し、さらなるデータの充実を図る必要がある。**

## 2. ツーリズムの深掘りにむけた取組み

### ■ 成果

- ① 武道館・武道場の施設の外国人ツーリズムの受入れ実態の大枠を把握した。  
※受入れ可否、受入れ実績、外国語対応、クレジットカード利用可否 等（詳細前頁参照）
- ② 訪日旅行事業者との意見交換会を開催し、現状の取組や将来性、課題のヒントを得ることができた。

### ■ 今後の課題

- ① **外国人ツーリズムの受入れに対し「応相談」と回答した施設が約50%あるが、その意向や原因（あるいは障壁）が令和2年度調査段階では未判明。**
- ② **外国人ツーリズムの受け入れ実績がある施設の成功事例や、その要因を分析・共有することで、今後の取組推進のきっかけをつくる必要がある。**

## 3. データベースのさらなる利活用 促進の可能性

### ■ 成果

- ① 調査で獲得したCSVを活用し、Web上で閲覧可能な、「武道場マッピング」と「検索システム」を構築し一般公開した（2021年3月中の公開に向けて現在作業中）。
- ② 訪日旅行事業者との意見交換会内で、これらのシステムが稼働することを告知し期待感が持たれた。

### ■ 今後の課題

- ① **令和2年度に制作した「武道場マッピング」と「検索システム」のさらなる利便性の向上を検討する必要がある（ただし、既存回答済施設の情報更新には課題有）**
- ② **Webで公開した各種データの利用促進や告知拡大を行う必要がある。**



## 8. 今後のデータベース拡充及び活用方針について

令和2年度、調査・データベース構築事業の成果を元に、次年度以降のデータベース拡充及び活用の方針について、以下3つの方向性に基づき、5つの方針を提案する。

### 1. さらなる「民間施設の拡充」に向けて

#### ■方針提案①

#### 地域スポーツコミッション等と連携した未回答施設の情報拡充

##### 【概要】

令和2年度事業で回答を得た施設のリストを該当の地域スポーツコミッションに提示。  
地域スポーツコミッション経由で未回答施設に対し、回答協力要請を依頼することで、民間施設や取り組みに積極的な施設からの回答拡充を図る。  
※アンケートの形式は、令和2年度のWebフォームを活用することで、効率化を図る。

### 2. 「ツーリズムの深掘り調査」の推進

#### ■方針提案②

#### 令和2年度 回答済み施設に対する追跡調査等の実施

##### 【概要】

令和2年度事業でアンケートに回答した施設の中で、「外国人を受入れ可否について『要相談』と回答した施設の課題や、受入れ実績が豊富で成功事例に該当する施設に対し、追加でヒアリング調査を実施し、その要因分析や解決策の検討につなげる。

#### ■方針提案③

#### 施設や地域スポーツコミッション等へのグループインタビューの実施

##### 【概要】

協力を得られた主体を対象に、グループインタビューを実施。施設や周辺の協力者の取り組みについてヒアリングすることで、推進に必要な要素を抽出し、⑤オンラインセミナーでの事例共有を計画する。

### 3. 顕在化した情報の「利活用」の推進

#### ■方針提案④

#### Webを活用したデータベース進化の検討

##### 【概要】

①の取り組みで追加獲得したデータを令和2年度のWeb実装スキームに拡充し、情報網羅性の向上を図る。  
「マッピング」と「検索システム」を基盤としつつ、利用者目線でさらなる利便性向上に向けた仕様を検討する。

#### ■方針提案⑤

#### 利活用促進オンラインセミナーの開催

##### 【概要】

日本スポーツツーリズム推進機構（JSTA）との連携を求め、スピーカーや実施内容を協議の上、令和3年度の実施事項を通して、取り組み進捗や武道ツーリズム推進のためのデータベース利活用のためのセミナーを開催し、自治体、旅行事業者、関係団体、企業への周知を図る。

## 1. 調査依頼書送付時の同封物

## ■（同封物①）協力依頼書面

令和2年12月吉日

武道施設担当皆様

スポーツ庁参事官(地域振興担当)

【武道ツーリズムに係る施設情報データベース構築事業】アンケートへのご協力をお願い。

平素より、スポーツの振興、スポーツを通じた地域振興にご協力いただき、ありがとうございます。

スポーツ庁では、地域資源とスポーツが融合した観光を表す「スポーツツーリズム」を推進しており、その中でも世界の関心が高い日本発祥の「武道」を活かした、希少性の高い「武道ツーリズム」を重点テーマに設定して施策を展開しております。

今後、武道ツーリズムを円滑に進めるため、全国の公共・民間の武道施設の名称、住所、設備、ツアー受入実績、インバウンド受入実績等の情報を調査し、一元的データベースを構築することを目的とした事業を実施することになりました。

本事業においては、これらの情報を把握するため、全国の武道施設担当皆様を対象としてアンケートのご回答をお願いしております。アンケートの調査結果は回答ご協力のお願いのため、下記記載の受託先より、調査結果のご報告をさせていただきます。御所におかれましても、ご協力をお願いいたします。

～ 送付物 ～

① 「武道ツーリズムに係る施設情報データベース構築事業」アンケートへのご協力をお願い（本紙） 1部

② アンケートの回答方法（右上に「A」と記入された用紙） 1部

③ 「武道ツーリズムとは」（A4版両面カラー） 1部

※お忙しいなか恐縮ですが、2021年1月15日（金）迄にご回答いただけますと幸いです。

【本事業の委託先について】

本事業は、株式会社JTBコミュニケーションデザインを委託先として選定いたしました。

委託先と調査票送付回収業務等を担当する再委託先の概要は以下となります。

（委託先概要）

■社名 株式会社JTBコミュニケーションデザイン

■所在地 東京都港区芝2-2-1 セイステインビルディング

■URL <https://www.jtb.co.jp/>

（委託先概要）調査票送付回収業務等を担当

■社名 株式会社野村総合研究所

■所在地 東京都千代田区千代田2-40-2

■URL <https://www.yomoco.co.jp/>

## ■（同封物②）アンケート回答方法

【ここに入力】 【ここに入力】 (A)

＜アンケートの回答方法＞

本調査におきましては、アンケート送付時の事故（郵送時の紛失等）防止を目的として、基本的にインターネット（WEB画面）でのご回答をお願いしております。お忙しいなか恐縮ですが、2021年1月15日（金）迄にご回答いただけますと幸いです。

以下、いずれかの方法にてアンケート画面へアクセスのうえ、ご回答ください。

※インターネットでの回答はPC、タブレット、スマートフォンから可能ですが、PCでの回答をお願いします。

①スポーツ庁 ホームページのバナーから

・検索サイトから「スポーツ庁」で検索しスポーツ庁 ホームページを開く。

・スポーツ庁ホームページトップ画面の中央の「トピックス」欄より「武道ツーリズムに係る施設情報データベース構築事業アンケート調査」をクリックしてアンケート画面へアクセス。

②下記URLを直接入力してアクセス

<https://www.yapo.co.jp/survey/budo/>

③右のQRコードをスマートフォン等で読み取りアクセス

上記①～③いずれかの方法でアンケート画面を開くとパスワードの入力画面が表示されますので、下記パスワードをご入力ください。

210117

（半角で入力ください）

○何らかの事情により既での回答を希望される場合には、下記記載の【本調査に関するお問い合わせ先】までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

※ご回答いただいた情報につきまして、本事業を含めたスポーツ庁事業のほかに利用することはありません。

（注）アンケートに必要と思われる取組がございまして、同意いただいた範囲につきまして、スポーツ庁ホームページ等に公表する予定にしております。

【本調査に関するお問い合わせ先】

スポーツ庁「武道施設調査」事務局 ※株式会社JTBコミュニケーションデザイン内

TEL 0120-181-125

受付時間 9:00～18:00 ※年末年始（12/29～1/3）を除く

## ■（同封物③）武道ツーリズム紹介 表面

日本発祥の武道を活用した新たなツーリズムスタイル 『武道ツーリズム』とは

スポーツ庁では、スポーツの参加や観戦を目的として地域を訪れたり、地域資源とスポーツが融合した観光を楽しむ「スポーツツーリズム」を推進しており、2018年度より、世界の関心が高い日本発祥の「武道」を活かした、希少性の高い「武道ツーリズム」を推進し、2020年3月に「武道ツーリズム推進方針」を発表しました。

この推進方針では、目指すべき姿として「武道が日本発祥であることの国際的認知（リソース）の向上」、「武道によるインバウンド誘客の促進と地域活性化」、「武道体験を通じたファン層の拡大による日本の精神・文化の国内外への普及・発信」の3つを掲げております。

武道は、スポーツとしての側面を持ちながら、我が国固有の伝統文化・精神文化として、人間形成や郷土愛醸成に影響を与え、礼儀や和を重んじる日本人を育ててきました。こうした武道の精神は海外からも高く評価され、今や世界中に1億人を越える武道愛好家がいるとされています。

スポーツ庁では、日本の貴重な財産としての武道の価値を、まちづくり・地域活性化に活かすため、「武道ツーリズム」という新たな取組を始めました。

しかしこの取組は、武道関係者をはじめ、自治体・スポーツ・商工・観光等の多くの関係者の協力無くして進めることは出来ません。

本調査で収集した基礎的な施設情報を基に、様々な武道ツーリズム施策を進めてまいりたいと考えておりますので、皆さまのご理解・ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

スポーツ庁長官 室伏 広治

【武道ツーリズムの可能性】 ◆ 各種アンケート調査からも、世界各国からの強い期待・関心が見えます

◆ 日本で経験してみたい（ある）スポーツツーリズム（2017年度：海外5か国調査）

◆ 他のスポーツと比較しても武道・大相撲のスコアが高い。

（期待する「武道」体験の内容／日本で武道体験を理由（2019年度：海外5か国調査）

◆（期待する内容）「武道の文化・歴史や、精神文化の習得」が高く、「試合や練習の見学」、「簡易体験」等がこれに次ぐ。（したい理由）「日本文化・武道の精神文化に触れたい」が高く、日本ならではの希少性や、「楽しそう」等も多い。

期待する「武道」体験

期待する「武道」体験をしたい理由

## ■（同封物③）武道ツーリズム紹介 裏面

◆ 各地における展開事例

① SAMURAI KYUSHU（剣道・居合道等）

日本航空（株）と（一社）九州観光推進機構等が自治体や関係機関と連携し、九州各地に多く残る伝統的な武道文化と武道体験や宿泊等の地域資源を融合させた取組です。

付加価値の高いコンテンツを「SAMURAI KYUSHU」のブランドで統一し、有機的に連携・活用することで相乗効果を創出し、訪日需要の喚起による地域活性化に資することを狙っています。

② 空手ツーリズム（沖縄空手）

特設サイト：<https://karate.ocvb.or.jp/jp/>

例① 沖縄空手 4 流派体験

世界に誇る文化としての空手の価値を発見させ、スポーツツーリズムとしても沖縄と空手が更に世界で認知、浸透されるよう取組を進めています。

例② 空手聖地巡礼ツアー

空手格古以外に楽しめる空手観光メニューを整備。聖地巡礼ツアーは空手発祥の沖縄からこそ体験できるサービス。

2020年度目標 旅行商品10達成 取組事業者10開拓

この他にも、各地で武道ツーリズムコンテンツの検討・開発が進められており、スポーツ庁では様々な支援施策を展開しています。本調査の結果もこうした取組に活用し、更なる武道の普及・発信や新しい価値の創出にまいります。

武道ツーリズム推進方針（令和2年3月31日公表）

武道ツーリズムプロモーション映像 ～「BUDO Tourism Japan - The Spirits of BUDO」～

【本件調査に関するお問い合わせ先】

スポーツ庁「武道施設調査」事務局  
（株式会社JTBコミュニケーションデザイン内）  
Tel: 0120-181-125  
【武道ツーリズムに関する問合せ先】  
スポーツ庁参事官（地域振興担当） 付  
地域振興係  
Mail: stiki@mext.go.jp

## 2. 調査依頼書送付時の封筒類

### ■外封筒

The diagram shows the layout of the outer envelope. At the top left, there is a circular stamp area labeled '料金後納' (Postage paid later) and a rectangular area labeled 'ゆうメール' (Yu-Mail). To the right of these are five small square boxes for an address. In the center, there is a large rectangular area containing the following text:

☆ アンケート調査ご協力をお願い ☆

「武道ツーリズムに係る施設情報データベース構築事業」

**スポーツ庁**  
JAPAN SPORTS AGENCY

※本調査はスポーツ庁の委託を受けて、株式会社JTBコミュニケーションデザイン、及び株式会社矢野経済研究所が実施しております。  
事業趣旨にご理解を賜り、ご協力くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

差出人／返還先 佐川急便株式会社 7152  
〒177-0041 東京都練馬区石神井町2-36-19

### ■宛名ラベル（ゆうメール）

The diagram shows the layout of the address label for Yu-Mail. It contains the following text:

〒 070-0037 (1018382-1)  
北海道旭川市 7 条通 1 4  
旭川市柔道場

ご担当者 様  
(0736-20201209) ID: 210117

### ■宛名ラベル（着日指定サービス利用時）

The diagram shows the layout of the address label for the designated delivery date service. It contains the following text:

到着原票 元払 着日指定サービス

〒070-0037  
北海道旭川市7条通14  
旭川市柔道場  
ご担当者 様

文部科学省スポーツ庁

ID: 210117  
(1018382-1)  
ポスト投函可

### ■アンケート送付時の取組み補足

- ・アンケート封筒については、スポーツ庁のアンケート調査であることを視認しやすいように作成
- ・公共施設の担当者と比較してアンケート調査の回答経験が少なく、不慣れな可能性があるという理由から、回答期間を1日でも長く取れるように民間施設の手元に早く届くよう着日指定サービスを利用してアンケートを送付した。  
また公共施設についても、北海道・東北、九州・沖縄などの地域については着日指定サービスを利用し、他地域の施設と到着のタイミングに大きなズレが生じないようにした。

## 9. 付録

### 3. アンケート回答 (Webページ キャプチャ)

## ①TOPページ

[10分5秒でわかるSQL入門](#)
[データベース](#)
[アンケート](#)

# 「データベース」に関する 最近の技術データベース技術記事

## アンケート

公開日時 2021年3月1日

スポンサー記事 (お見逃しください)

「データベース」に関する最近の技術データベース技術記事 (アンケート) の一覧がこちらです。

本記事は、データベース技術、データベース運用に関する記事について取り上げ、最新の技術記事をご紹介します。

データベースとは、組織のデータを蓄積し管理するためのシステム (データベースシステム) を指します。本記事では、データベースの概要や、データベースの設計方法、データベースの運用方法について解説します。

「データベース」とはデータベース管理システム

本記事では、データベースの概要や、データベースの設計方法、データベースの運用方法について解説します。

データベースとは、組織のデータを蓄積し管理するためのシステム (データベースシステム) を指します。本記事では、データベースの概要や、データベースの設計方法、データベースの運用方法について解説します。

データベースとは、組織のデータを蓄積し管理するためのシステム (データベースシステム) を指します。本記事では、データベースの概要や、データベースの設計方法、データベースの運用方法について解説します。

アンケートは 2021年3月1日 (日) まで、ご回答いただけます。

アンケートは、データベースに関する最新の技術記事について、ご回答いただけます。

アンケートは、データベースに関する最新の技術記事について、ご回答いただけます。

アンケートは、データベースに関する最新の技術記事について、ご回答いただけます。

## ②PW入力画面

「武道ツーリズムに係る施設情報データベース構築事業」アンケート

6桁のパスワード(半角数字)を入力して、回答画面へお進みください。

※パスワードは、郵送でお送りしたアンケートの回答方法>の画面にてご確認くださいませ  
(コールセンターでもご確認くださいませ)。

パスワード

6 桁 の 半 角 数 字

アンケート回答画面へ進む

### ③回答入力画面

[illegible]

2-5. 質問型において、下記懸念への対応は可能ですか。また、下記以外で何故可能な懸念がある場合には、その懸念名をご記入ください。

|              |                         |                          |
|--------------|-------------------------|--------------------------|
| 1. 英語        | <input type="radio"/> 可 | <input type="radio"/> 不可 |
| 2. ポインツ      | <input type="radio"/> 可 | <input type="radio"/> 不可 |
| 3. フォンション    | <input type="radio"/> 可 | <input type="radio"/> 不可 |
| 4. スペイン語     | <input type="radio"/> 可 | <input type="radio"/> 不可 |
| 5. ベトナム語     | <input type="radio"/> 可 | <input type="radio"/> 不可 |
| 6. コング       | <input type="radio"/> 可 | <input type="radio"/> 不可 |
| 7. 中国語       | <input type="radio"/> 可 | <input type="radio"/> 不可 |
| 8. 韓国語       | <input type="radio"/> 可 | <input type="radio"/> 不可 |
| 9. その他のお気遣い  | <input type="text"/>    |                          |
| 10. その他のお気遣い | <input type="text"/>    |                          |
| 11. その他のお気遣い | <input type="text"/>    |                          |

【4. 自由回答】

英語サークルズに關しまして、ご意見等ございましたら、自由に記述ください。

(無稿のためのアイデアや議論、すでに外國人を受け入れられている場合には、受け入れて良かったことや受け入れる際の難しさなど、英語サークルズに關することであれば、どのようなことでも構いません)